

食べる・飲む

江別グレシャムアンテナショップ

北海道遺産「江別のれんが」に選定されている旧肥田レンガ工場の建物を活用したアンテナショップ。併設のカフェではオレゴン州から取り寄せた豆で焙煎したコーヒーを江別名物のレンガパンと一緒に味わえる。無料インターネットコーナーあり。

10時～20時、月曜休館

こじま

野幌駅北口から徒歩7分。江別漁協に所属するオーナー自らが水揚げした石狩川名産のヤツメウナギ（通年）とモズクガニ（秋口のみ）を味わえる飲食店。ヤツメウナギの甘露煮やソーセージなども楽しめる。

11時30分～14時（17時～21時は要予約）、月曜定休

OLD-E#

1919年建築の旧北陸銀行江別支店を活用したレストラン・カフェバー。江別駅前旧市街の東側に建つ大正時代の石造り建築物を活用しており、昼間はカフェレストラン、週末の夜はバーとして営業。江別特産の小麦、野菜を使ったメニューも味わえる。

11時30分～18時（金曜・土曜は23時まで）、水曜定休

サンタクリーム

大麻駅南口から札幌方面へ徒歩8分の国道12号線沿いにある、学生街のお洒落なカフェレストラン。江別小麦を使ったイタリアン、トッピングにこだわったアイスクリーム、プリンアラモード、高さ38センチの名物「百年記念塔パフェ」など、ユニークで楽しいメニューが充実している。

11時～20時、火曜は17時まで

Memo

Please visit ekinavi-net.jp

北海道とサハリンのオンライン旅行ガイド。様々な旅行シーンで役立つ観光情報や公共交通案内、読みやすい地図、無料パンフレット、ホテル予約サービスを提供しています。

江別散策案内

街歩きポケットガイド

The smart travel guide

FREE

ekinavi-net.jp

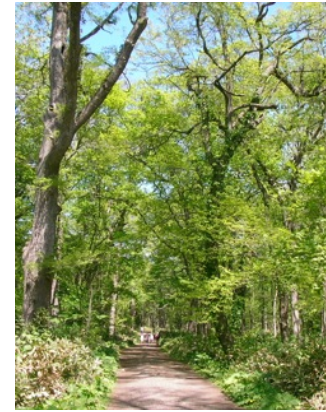
エリアマップ



見どころ

野幌森林公園

開拓時代の面影を残す広大な平野林。都市近郊の森林公園としては世界的に見ても大規模で、道立自然公園に指定されている。園内には散策路が網の目のように整備されており、江別市大麻地区からは大沢口に建つ「自然ふれあい交流館」（祝日を除く月曜休館）から森林浴やバードウォッチングを楽しむことができる。公園の木々や植物は新緑の季節が最も美しい。秋や冬の散策も風情がある。



酪農学園大学

1933年に設立された私立学校法人で、江別市大麻地区の文京台緑町に広大なキャンパスを持つ。敷地は付属施設などを除いて一般に開放されており、白樺並木やレンガ造りの精農寮、牧場、トウモロコシ畑などの風景を歩きながら見ることができる。北海道立図書館や大麻中央公園とあわせて散策したい。大麻駅南口から徒歩10分。



道立埋蔵文化財センター

文京台小学校の隣接地に立地しており、北海道内の遺跡から発掘された土器や道具、国指定重要文化財、埋蔵文化財の復元手法、国際的に有名な恵庭市キウス遺跡に関する詳細報告などを一同に紹介。図書閲覧コーナーが充実しているほか、様々な企画展示も随時開催している。

9時30分～16時30分、月曜・1月～3月の祝日休館、入館無料



野幌グリーンモール

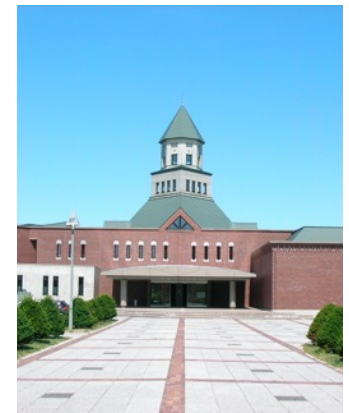
野幌駅北口の国道12号線と湯川公園を結ぶ全長920mの遊歩道。路面には江別名産のレンガが敷かれており、沿道には洒落た外観のガラス工芸館、開拓時代の面影を残す錦山天満宮、屯田資料館、野幌公会堂などの歴史的建築物が点在している。グリーンモール終点の湯川公園には小川が流れており、園内には屯田兵屋やレンガ造りのサイロが保存されている。



セラミックアートセンター

れんがとやきものをテーマとしたミュージアム。江別レンガの歴史や地元独特のレンガ造りサイロの組み方、北海道内の窯でつくられた陶芸作品を展示。アートセンターの名にふさわしく、美術館のような趣きがある。野幌駅南口から野幌運動公園行きのバスに乗車。

9時30分～17時、月曜・祝日の翌日・年末年始休館、300円



江別市郷土資料館

8500年前から現代までの江別に関する文化資料を約千点展示。1878年に入植した屯田兵の資料、400個以上の土器、北海道式古墳のジオラマなどもある。江別駅から徒歩10分。資料館の北に広がる飛鳥山公園には、かつて公設の地方競馬場が設けられていた。

9時30分～17時、祝日を除く月曜および祝日の翌日は休館、200円

